

主催 日本動脈硬化学会 教育・研修委員会

後援 日本脈管学会、血管診療技師認定機構

第19回診断技術向上セミナー報告

日本動脈硬化学会教育・研修委員会では、教育研修事業の充実と啓発活動の一環として、動脈硬化性疾患の診断・治療における無侵襲検査の重要性を広く啓発し、より臨床に重点を置いたセミナーを毎年2回開催しています。セミナー内容が高く評価され、日本動脈硬化学会認定動脈硬化専門医資格更新単位が5単位取得できます。さらに、(社)血管診療技師 (CVT) 認定資格更新単位が7単位付与されます。

今回の第19回診断技術向上セミナーは、第58回日本脈管学会総会（会長 古森 公浩 名古屋大学大学院医学系研究科血管外科学分野教授）期間中の10月21日(土)、古森会長のお世話により名古屋国際会議場で午前9時00分から午後5時00分まで開催されました。例年と変わらず多くの皆様にご参加頂き、学会員を含めて120名を超えました。今回はCVT講習会と合同で一日でのセミナー開催であり、教育講演+ハンズオンセミナーを開催しました。教育講演では、血管疾患の解剖、生理、身体所見の見方から、動脈疾患、静脈疾患と多岐にわたる講演がありました。また、様々な職種からCVTへどのように関わっているかを解説していただきました。また、血管機能検査の臨床への活か



教育講演



教育・研修委員長 梶波康二先生 挨拶

し方について東幸仁先生にご講演いただきました。午後からは頸動脈エコー、腎動脈エコー、下肢動脈エコー、下肢静脈エコー、血管機能検査について、それぞれ専門家の立場からご講演していただきました。いずれもわかりやすい講義と実地に直接役立つコツを伝授する講演でした。ハンズオンセミナーは、頸動脈エコー、腎動脈エコー、下肢動脈エコー、下肢静脈エコーに加え、APG、ABI、経皮酸素分圧、SPP、FMDなどのハンズオンを開催しました。参加者全員にみてもらえるようにローテーションですべての領域に参加できるよう構成しました。長時間のセミナーにもかかわらず、参加者の方々は、最初から最後まで熱心に受講されていました。

第20回診断技術向上セミナーは、第50回日本動脈硬化学会総会・学術集会（会長 山下静也 りんくう総合医療センター病院長、大阪大学大学院医学系研究科総合地域医療学寄附講座・循環器内科学特任教授、大阪国際会議場、2018年7月12日（木）～7月13日（金）、大阪国際交流センター（サテライトミーティング）、7月14日（土）<http://www.c-linkage.co.jp/jas50/index.html>）の会期中、7月12日（木）午前8時55分～17時00分、大阪国際会議場で開催予定です。セミナー内容が決定次第、日本動脈硬化学会のホームページ（URL：<http://www.j-athero.org/>）にてお知らせいたします。



ハンズオンセミナー

CVT 認定機構は、日本血管外科学会、日本脈管学会、日本静脈学会および日本動脈硬化学会の4学会構成による血管診療技師[CLINICAL VASCULAR TECHNOLOGIST (CVT)] の認定機構です。CVT は、脈管疾患の無侵襲診断及びその介助から、医師による侵襲的診断・治療の介助まで脈管領域の診療にコメディカルとして関わる専門家として診療レベルを高め、バスキュラーラボの発展に寄与していくことを目的としています。

当委員会でもこれらの学会と共同で、動脈硬化性疾患の診断技術の普及と向上に寄与できるよう、日常診療に即したより実践的な動脈硬化性疾患の画像診断・治療への応用に関するセミナーを充実し、皆様にご提供してまいりたいと存じます。会員の皆様には会員割引を実施しておりますので、血管疾患のエキスパートとなる臨床検査技師、看護師、臨床工学技士、理学療法士等の育成やバスキュラーラボの開設を考えておられる先生方、動脈硬化性疾患の無侵襲診断にご興味のある先生方ならびに診療知識のUp-to-Dateのための認定動脈硬化専門医資格更新が必要な先生方は、是非ご参加ください。また、研修医ならびに一般医科の先生方のスキルアップにもつながるセミナーですので、周囲の先生方にも是非ご紹介ください。

最後ではありますが、本セミナーの開催に際しご後援をいただきました日本脈管学会、血管診療技師認定機構、ハンズオンの開催に際し多大なご協力・共催をいただいた東芝メディカルシステムズ(株)、(株)日立製作所、GEヘルスケアジャパン(株)、九州メディカルサービス(株)、(株)カネカメディックス、フクダ電子(株)、ラジオメーター(株)、(株)ユネクス、運営にご協力いただいたアスリード(株)をはじめ、関係者の方々に深く感謝致します。

教育・研修委員会

濱口 浩敏